

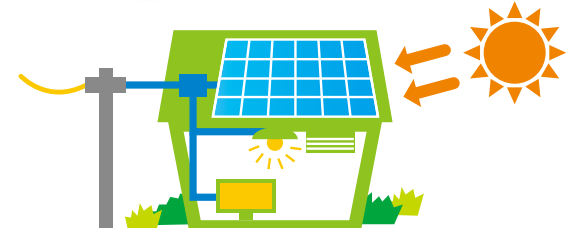
次世代エネルギーパークとは？

太陽光や風力などの再生可能エネルギーをはじめとした次世代のエネルギーについて、小学生から高齢者まで国民各層が実際に見て触れる機会を増やすことを通じて、地球環境と調和した将来のエネルギーのあり方に関する理解の増進を目的とし、次世代エネルギー設備や拠点施設を経済産業省資源エネルギー庁が認定し推進しているものです。

再生可能エネルギーの特徴と種類

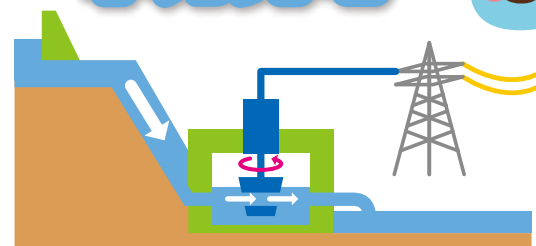
現在、わが国の主要なエネルギー源である石油、石炭などの化石燃料は限りがあるエネルギー資源です。これに対し、太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱などのエネルギーは、一度利用しても再生が可能であり、**資源が枯渇しないエネルギー**です。これらは「再生可能エネルギー」ともいわれます。また、発電や熱利用の際に地球温暖化の原因といわれている**二酸化炭素をほとんど排出しない優れたエネルギー**であり、石油等に代わるクリーンなエネルギーとして政府はさらなる導入・普及を促進しています。

太陽光発電



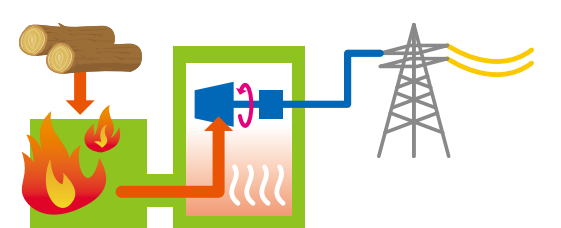
太陽の光エネルギーを受けて発電した直流電力をパワーコンディショナによって交流電力に変換し、電化製品などに電気を供給します。家庭用から大規模発電用と幅広い導入が進んでいます。

水力発電



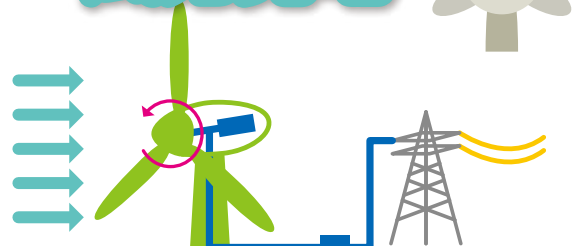
ダムや河川などの高低差を活用して水が落下するエネルギーによって水車を回して発電します。近年では、農業用水などに小型の水車を設置した「小水力発電」の導入が進んでいます。

バイオマス発電



植物や動物の排泄物などの生物資源（バイオマス）やそれらを材料とするバイオ燃料を燃やしてできた高温の蒸気でタービンを回して発電します。発電だけではなく、自動車や暖房の燃料としても利用されています。

風力発電



風の力で回る風車の回転エネルギーによって発電します。海岸や海上、広大な平野部、山岳地帯など、安定した風がよく吹く地域への導入が進んでいます。

見どころ
いっぱい！

かなざわ次世代エネルギーパーク



① 金沢市保健所 10kW



② 金沢駅広場 133.4kW



③ 金沢市民芸術村 10kW



④ 額谷ふれあい体育館 20kW

石川県庁

金沢市保健所①

金沢駅広場②

金沢市民芸術村③

西部環境エネルギーセンター

金沢市役所

⑥ 本多公園 金沢21世紀美術館

④ 額谷ふれあい体育館

城北市民運動公園

下水道施設を利用した発電設備を集積

城北水質管理センター

金沢星稜大学

⑤ 東部環境エネルギーセンター

奥卯辰山健民公園

兼六園

⑥ 本多公園

金沢21世紀美術館

金沢大学

大桑防災拠点広場⑦

戸室リサイクルプラザ

北陸大学

金沢学院大学

⑧ 末浄水場

上寺津発電所 ほか4箇所



⑤ 東部環境エネルギーセンター 3,000kW



⑥ 本多公園 1kW



⑦ 大桑防災拠点広場 100kW



⑧ 末浄水場 42kW